

TOMOKO

山口県議会議員 高井ともこ 県政レポート



政治姿勢

見つけ出すこと

考え創り出すこと

実行すること

ホームページ



Facebook



ご挨拶

新年を迎えたその日に能登半島地震が発生し、多くの方が被災されました。お亡くなりになられた方々のご遺族に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様的心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されておられる方々に深く敬意を表します。

一日も早く復旧をされることをお祈りすると同時に、被災された皆さまが平穏な日々を取り戻せるよう、お祈り申し上げます。

昨年、令和5年4月9日の選挙で県議会議員に当選し、再び地域の皆様の声を県政へと繋ぐ機会を頂きました。皆様の温かいご支援とご厚意に心から感謝いたします。

同年6月、11月の終わり頃コロナに罹患いたしました。今は元気いっぱい精神的に活動しております。

県民の皆様が安心して暮らせますよう、全力で働いてまいります。引き続き、ご支持ご支援賜りますようお願い申し上げます。

Vol.3

December 2023
January 2024

みなさまの心に寄り添って、県政に届けます！

11月定例会質問

- 安心して出産できる体制づくりについて
- 困難な問題を抱える女性への支援について
- 野犬の捕獲や譲渡への取り組みについて
- 台湾向けの観光プロモーションについて
- 特定外来生物ヌートリアの防除対策について
- 林業振興について

11月29日～12月15日までの17日間に行われた定例議会の一般質問致しました。

詳細につきましては山口県議会のホームページより本会議の議事録をご覧ください



1.安心して出産できる体制づくりについて

山口県では、県内における安心して出産できる環境の整備に向け、産婦人科や助産所の不足に対応すべく新たな取り組みを進めています。県内の一部地域での産院不足や医師の高齢化が課題となっており、これに対処するために産科医や助産師の確保・充実に力を入れています。内容としては、分娩を取り扱う医療機関や助産所の整備、必要な設備の支援が計画されています。また、助産所の拡充や分娩監視装置の整備を通じて、気軽に相談でき、近くで安心して出産できる環境の整備に注力しています。

さらに、国の補正予算による新生児マススクリーニング検査の拡充にも注目し、早期の病気発見を通じて、親としての安心感を提供する方針です。山口県はこれらの取り組みを通じ、人口減少という喫緊の課題に対応し「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現に向けた一環として、出産に関わる様々な側面に全力で取り組んでいくことを表明しています。新生児マススクリーニング検査とは：新生児における先天代謝異常などの疾患やその疑いを早期に発見し、発病する前から治療が出来るようにすることを目的とした検査のこと。

2.困難な問題を抱える女性への支援について

男女共同参画社会の実現に向け、DVや性暴力被害などに苦しむ女性たちへの支援を強化する方針を発表しました。女性を取り巻く様々な課題が複雑化し、特にコロナ禍において顕在化している中、国の「困難女性支援法」に呼応し、来年4月からその実施に向けた基本計画を策定する取り組みを進めています。具体的な支援策として、悩みを抱える女性を早期に把握し、多様な形態での相談に対応するための仕組みを整えます。また、DV被害者に対しては適切な

一時保護を提供し、自立生活に向けた支援を行う「ステップハウス」の運営やアフターケアの実施を計画しています。これらの支援はニーズに応じて柔軟かつ適切に行うため、男女共同参画相談センターを中核に構成される「支援調整会議」を設置し、情報共有や支援方針の協議を行う新たな体制も導入します。山口県は今後も市町や関係機関、民間団体と協力し、女性一人ひとりのニーズに応じた包括的で効果的な支援を提供していく方針です。

3.野犬の捕獲や譲渡への取り組みについて

山口県では、過去には野犬の多くが殺処分されていましたが、県や市町、愛護団体の協力により、譲渡が増加し殺処分が減少するなどの成果が上がっています。近年では感染症予防のワクチン接種も始まり、愛護団体の負担が軽減されつつあります。しかし、野犬の問題は完全には解消されておらず、引き続き住民の安全も確保するための取り組みが求められています。野犬の捕獲に関しては、周南環境保健所が導入した遠隔操作システムを活用し、成犬の捕獲が可能になってきて

います。技術の改良や他地域への導入を進める一方で、生息状況の把握や餌やり行為者の特定にデジタル技術を導入し、効果的な対策を検討しています。野犬の譲渡についても、仲介者となる愛護団体との連携を強化し、譲渡機会の拡充に努めます。山口県は引き続き市町や関係機関と協力し、野犬の問題に対処することで、安心して安全な社会・環境を築くための取り組みを継続していきます。

4.台湾向けの観光プロモーションについて

台湾からの観光客を呼び込むためのプロモーションに積極的に取り組んでいます。台湾は有望な市場であり、友好関係を深める覚書を交わし、観光PRイベントを開催するなど、既に一定の成果があります。今後は、観光商品の造成や効果的なマーケティング戦略を展開し、県内周遊を促進することに焦点を当てています。具体的な取り組みとして、現地の旅行プロモーターとの連携や視察ツアーの開催、ビッグデータを活用したターゲティング広告の配信などが挙げられます。知事によるトップセールスや観光情報の積極的な発信に

より、県内の観光地やアクティビティを幅広くアピールします。また、台湾ランタンフェスティバルに出展し、知事によるトップセールスを行うなど現地イベントにも積極的に参加します。

さらに、台湾からのチャーター便誘致を進め、直接的な誘客を図ることで、拡大する台湾からのインバウンド需要を取り込む方針です。県としては、県議会や市町、観光業者との協力を強化し、台湾からの誘客を戦略的かつ継続的に推進してまいります。

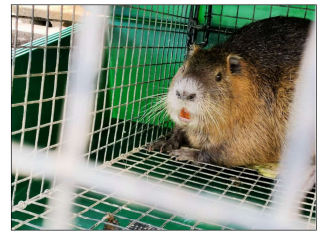
5.特定外来生物ヌートリアの防除対策について

山口県は、急増するヌートリアの農業被害に危機感を抱き、環境省の呼びかけに応じてヌートリア防除対策を強化しています。ヌートリアはもともと南米の水辺に生息する動物で、大型のネズミに分類されますが、その生息頭数が近年、本県内で急激に増加しています。ヌートリアの増加により、農業地域での被害も深刻化。これを受けて、県は外来生物法に基づく防除実施計画を策定し、ヌートリア捕獲の主体となる市町と協力しています。特に注力しているのが、捕獲従事者の養成であり、狩猟免許を持たない一般の農業者や市町職員も捕獲に参加できるような環境づくりを進めています。この取り組みにより、捕獲数は計画策定前の27頭から約1,000頭まで増加しています。ただし、ヌートリア捕獲には感染症リスクも伴いま

す。ヌートリアはレプトスピラ症などの病原体を媒介する可能性があり、これによってヒトへの感染も報告されています。

このため、捕獲従事者の健康被害防止に向け、県は感染症リスクや予防対策などを周知するための研修会を開催。引き続き、捕獲作業に従事する者がリスクを正しく理解し、予防対策を実施することが求められています。

県は今後も市町との連携を強化し、効果的な捕獲方法の普及や感染症リスクへの対策を進めつつ、ヌートリアによる農業被害の軽減を目指します。



山口県内で捕獲されたヌートリア

6.林業振興について

山口県では、スギ・ヒノキの人工林が本格的な利用期を迎え、森林の健全な環境を保つために「伐って、使って、植えて、育てる」サイクルを進め、森林サイクルの好循環を築く新たな林業振興策を発表しました。

ただし、高齢化する林業就業者や供給不足などの現状を受け、県は様々な取り組みを行っています。需要拡大のため、「建築物等における木材の利用促進に関する基本方針」に基づき、県産木材の利用を促進する取り組みを強化しています。具体的には、「やまぐち木の家づくり推進補助金」をはじめとし

た支援策を活用し、関係団体との連携を通じて、県産木材の需要を拡大していく方針です。

一方で、供給においては、林業就業者の高齢化や担い手不足、施業コストの増加などが課題となっています。これに対処するために、生産性の向上を図るための高性能林業機械の導入支援や技能者の養成、伐採可能な森林の集積を進めるなど、供給体制の強化に取り組むこととしています。

県は今後、関係団体と協力し、森林サイクルの好循環を実現するために、需要と供給の両面から戦略的かつ継続的に取り組んでいく方針です。

2023年活動写真館

様々な活動の中から掲載可能なものを取り上げております。
Facebookページ
<https://www.facebook.com/tomoko.takai.77>

完成 インクルーシブ広場



山口宇部空港内にある山口宇部ふれあい公園が新たな進化を遂げました。あらゆる子どもたちが楽しみながら安心して遊べる県内初の大型インクルーシブ遊具が設置され令和5年5月27日にグランドオープンしました。子どもたちが楽しく遊び、過ごすために欠かせないのが遊具とトイレです。子育て経験の視点から、親子で入れるように洋式でスペースが広めのトイレの設置を提案させていただきました。県には早急な対応をお願いし、6月中には主に和式であった女子トイレを、和式は1つ残して4つを洋式トイレと変えていただきました。山口宇部ふれあい公園での新たな遊具の設置は、市長が地域の皆さまの声を大切にされてこられた成果です。親子ともに楽しく過ごせ、子育ての日常をより快適にし、地域全体の成長に寄与する一歩となります。これからも地域の皆さまとともに協力し、市と県をつなぎより良い未来を築き上げて行くよう精進してまいります。

視察 防府市 まあくんハウス

地域の捨て犬たちの未来を変えるために

周南市の野犬、捨て犬達が問題になっております。殺処分直前まで引き取り手の無かった犬100匹以上を保護している、防府市のまあくんハウス。ここではボランティアさん達がお世話をしながら里親を探しておられます。本来、この犬たちは人懐っこく飼い主に愛されすべき存在です。しかし、過酷な運命に翻弄され、捨てられたり山で生まれたり、多頭飼育の崩壊から救われたりという過程を経ています。多くの犬たちは悲しい目をしており、知らない人間の存在に怯え、毛布に隠れたり大きなトラウマを抱えています。ボランティアさん達が時間をかけて愛情を注いでこられ、少しずつ心を開いてきた犬達。トライアルを重ねながら里親さんの元へ旅立っていきます。保護猫達も別棟に居ました。病気のある子と健康な子を部屋を別けて管理をされています。他団体の方々からも、保護犬保護猫活動における課題を聴いており、少し時間はかかりますが改善に向けて力を注いでまいります。



任命 文教警察委員会副委員長

県警本部警備部機動隊・山口県立徳山総合支援学校

7月20日、委員会メンバーによる県警察本部警備部機動隊と県立徳山総合支援学校の視察に行っていました。主に自然災害への備えと共生社会支援の調査・意見交換を行いました。県警機動隊では災害警備活動の実施体制や装備、レンジャー訓練について、支援学校では障害者支援の自立と社会参加を促進する取り組みやVR体験学習を説明を受け、地域の安全と共生社会の向上に貢献するアイデアが得られました。



その他 竹害から竹材へ



これまで害をなす植物とされてきた竹を生活の中に取り入れ、役に立つものへと変えていこうとする取組を行っている企業の展示イベントを視察してまいりました。かつて竹は、日用品として生活の中にとっかかりと根付いていたことが展示品の数々を拝見しよくわかりました。また日本の手工芸の丁寧な美しさを再認識させていただきました。そして新たな取組としての家具などの竹製品が大変注目されており、初日からいくつもの企業の方々が見に来られていました。竹から作られた洗剤やタオルなども大人気でこれからの展開が楽しみです。県としても取組を進めることになっている竹産業。注目ですよ。

保存 日本最古級の国産投影機

プラネタリウム機 VENUS S-3 動態保存目指し



今年6月に閉館した宇部市勤労青少年会館。今、宇部の誇る貴重な遺産が危機に瀕しています。1967年に設置された後藤光学製の投影機「VENUS S-3」。定期的なメンテナンスによって、今でも投影可能です。歴史的・文化的・機械的・教育的にも価値のあるこの機体を何とか残したい、そんな想いで宇部天文同好会がプロジェクトを始めました。宇部市としても、この機械が果たしてきた役割は大きいものと認識していますが、予算の兼ね合いの問題もあり、動態保存は厳しい状況です。宇部の宝を守るため、そして宇部天文同好会の一員として応援しています。現状、未決定事項も多いのですが、まずは建物の外に出し、瓦礫の中に埋まらずにする事が重要です。そこで同好会が募ったクラウドファンディングでの皆様のご協力と榊後藤光学研究所様のお力添えにて12月8日に無事館外へ搬出することができました。今年の10月21日はプラネタリウム誕生100周年。課題は多くありますが、この宝を大切にしたいと思います。

～ ちょっと一息～



周防大島産の柚子で作られたチェッコに宇部市小野で採れたバタフライピーのハーブティーのコラボレーション。グラデーションがとてもキレイです。

発行：高井ともし事務所
〒755-0153
山口県宇部市床波5丁目10番1号
TEL & FAX 0836-52-7722
mail: t.takai.a.office@gmail.com